



平成 24年3月30日

各 位

会社名 住友ベークライト株式会社
代表者名 代表取締役社長 林 茂
(コード番号 4203 東証第1部、大証第1部)
問合せ先 経理企画本部副本部長 寺島 郁朗
(TEL 03-5462-3452)

通期業績予想の修正および配当予想の修正のお知らせ

平成23年11月7日に公表した平成24年3月期の業績予想ならびに配当予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	190,000	8,500	10,000	4,800	19.92 円 銭
今回修正予想(B)	185,000	4,700	5,900	2,700	11.21 円 銭
増減額(B-A)	△ 5,000	△ 3,800	△ 4,100	△ 2,100	
増減率 (%)	△ 2.6	△ 44.7	△ 41.0	△ 43.8	
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	190,971	11,181	12,507	5,154	21.39 円 銭

2. 修正の理由

欧州の財政・金融不安や、米国での景気低迷、タイの大規模洪水、中国の成長鈍化に加え、円の高止まりや原料価格の上昇など、内外ともに厳しい経済環境のまま推移いたしました。

当社グループにおきましても、主力事業の半導体関連材料事業は依然薄型テレビやパソコン向けの需要が伸び悩むまま本格的な回復に至りませんでした。また高機能プラスチック事業では、自動車向けでは回復の兆しが漸く見えてきましたが、液晶関連需要の低迷が続き、クオリティオブライフ製品事業でも建材関連需が低調のまま推移いたしました。

そのような状況の下、当社グループは固定費の抑制や不採算事業の構造改革を含め収益構造の改善に鋭意努めてまいりましたが、国内およびアジア地域での業績低迷に加え、退職給付会計の数理計算上の差異による損失を計上いたしますので、連結営業利益、連結経常利益、連結当期純利益は前回予想を下回る見込みとなりました。

※上記予想は作成時点において当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいており、実際の業績は事業環境など様々な要因によりこれらの予想と異なる可能性があります。

3. 配当予想の修正について

基準日	1株あたり配当金(円)		
	第2四半期	期 末	合 計
前回予想 (平成23年5月10日公表)	7円50銭	7円50銭	15円00銭
今回修正予想		5円00銭	12円50銭
当期実績	7円50銭		
前期実績 (平成23年3月期)	7円50銭	7円50銭	15円00銭

4. 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題のひとつと考え、研究開発や設備投資あるいはM&Aといった将来の事業展開のために必要な内部留保とのバランスを考慮しつつ、連結業績に応じた安定的な配当の継続を方針としております。

当社を取り巻く事業環境が厳しい中、当社は身の丈にあった企業体質の維持のため徹底したコスト削減や、業務の効率化、事業の再構築による選択と集中を進め、収益の向上に取り組んでまいりました。しかしながら、前記1.に記載のとおり、当期の業績が想定以上に悪化したことに加え、フレキシブル・プリント回路事業からの撤退を決定したことによる損失が発生いたしました。他方、新製品の戦力化に向けた投資など、今後の成長のための資金の確保も必要となっております。以上を考慮した結果、誠に心苦しく存じますが、期末配当につきましては当初予想の1株7円50銭から2円50銭減額の5円とさせていただきたいと存じます。

以上